



低価格の高品質イヤホン開発

渡部さん 高崎 大賞

15組が独創的プラン

起業者発掘プロジェクト
「群馬イノベーションアワード (GIA) 2020」
(上毛新聞社主催、田中仁財団共催) のファイナリスト
ティジが5日、前橋市のヤ

マダグリーンドーム前橋で開かれた。最終審査に臨んだ15組が社会問題の解決につながる独創的な事業プランを発表。スタートアップ部門でエントリーし、独自技術で開発した低価格で高品質な「ハイレゾイヤホン」を紹介したオーツエイド(高崎市)の渡部嘉之さん(57)が大賞に輝いた。
8年目の今回は過去最多の606件の応募があった。1、2次審査を通過した高校生から社会人までの

低価格イヤホンを開発した渡部さんを紹介するマダグリーンドーム前橋



ファイナリストが、独自のビジネスプランや新商品、新サービスなどを紹介。慶応大の国領一郎教授ら7人が審査した。
ビジネスプラン部門では



高校生の部で、高崎経済大附属高1年の金子茉桜さん(15)、大学生・専門学校生の部で慶応大1年の高橋史好さん(20)、一般の部でコスモス(前橋市)の大津留

門ではダイコー(太田市)の斎藤胡依さん(50)がそれぞれ入賞した。関東経済産業局長賞は大津留さんがダブル受賞した。

会場では、東京農大二高吹奏楽部による華やかなパフォーマンスが彩りを添えたほか、食材宅配の3ブランドを展開する「オイシックス・ラ・大地」(東京都)の高島宏平社長が「Oisix(オイシックス) 起業からの学び」と題して講演した。

新型コロナウイルス感染症予防のため、来場者全員の状態申告書の提出を要請。観覧席は間隔を空け、登壇者もマウスシールドをする

など細心の注意を払った。